



1. 貧困をなくそう 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を



ナミブ砂漠にて、ナディートのスタッフら関係者と。

今ある資源を大切に

今年の夏、大学の「SDGsスタディツアー/ナミブ砂漠で学ぶサステイナビリティ」に参加し、ナミビア共和国にあるナディート・センターで、究極のサステイナビリティ・ライフ、を体験しました。

ナディートは、ナミビア共和国が抱えている課題に対して、さまざまな体験を通して啓発活動を行っています。たとえばエネルギー問題。ナミビアには、送電網のインフラ整備が不十分なために薪をエネルギー源として暮らす人も存在します。ナディートでは生活に関わるエネルギーに直射日光を利用しています。ソーラーパネルや太陽熱を利用する器具を使えば、送電網や薪を利用しなくても調理をしたり水を温めたりすることができのです。一人につき、実際に使用した電気量は一日約3キロワット。東京での暮らしの約15パーセントのエネルギーで生活することができました。

持続可能な生活を体験を通じて伝えることは、ナミビアの人々の生活を豊かにするだけでなく、エネルギーの使用量を抑えることにもつながります。そして、限りある資源を守り、温暖化を防ぐことにも貢献するのです。私も東京でできる自分なりの、資源を無駄にしない生活によって、エネルギーの使用量を抑えていきたいと思っています。

*ナディート: Neowulu (Nambib Desert Environmental Education Trust) の略称。NO-ORG「ネクスト/ドネウォル」を運営した非営利組織。
今月の投稿(文と写真)安藤穂乃佳さん 聖心女子大学の学生。スタディツアーの参加メンバーとともに NADDIERTOへの募金活動を実施中。

あなたの投稿をお待ちしています!

「わたくしが見つけたSDGs」に写真と原稿をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題に取り組む人々の姿など、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。
応募要項: 写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。
*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)とJICAの取り組み
URL: <https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/>



独立行政法人 国際協力機構

